

令和5年度 英語教育の具体的取組

1 旭学園の英語教育の特色

ネイティブスピーカーに触れる機会や積極的に英語でコミュニケーションを図る学習を通して、思いや考えを交わし合う経験を重ね、ふるさと旭への愛着を持つとともに、英語を使って旭の魅力や発展、自分のことを表現する意欲と能力を高める。（旭保育園・旭学園英語教育全体計画より）

2 指導体制

- (1) 指導教員 1・2年…2人体制（英語担当、担任）
 3～6年…3人体制（英語担当、担任、ALT）
 7～9年…2人体制（英語担当、ALT）
- (2) 教室 英語教室（3～7年）、教室（1・2年、8・9年）

3 指導上の留意点

- (1) 担任と英語担当でT1、T2を行う。（1～6年）
 (2) 英語担当が授業の計画を確認する（年間計画や略案等で）。（1～9年）
 (3) 年間の単元のうち1単元は担任がT1として授業を行う（4月に決めておく）。（1～6年）
 (4) ICTを活用した授業を行う。デジタル教科書を活用し、歌やチャンツ、会話等に取り組む。

4 授業の流れ「旭スタイル」

① Greeting（あいさつ） 5分	（例）「Let's start English lesson.」 ALTとのやりとり（一問一答）
② Warm up（ウォームアップ） 5分	フォニックス、歌、チャンツ、書く練習、小テスト等本時に 関わる内容を各学年で決める。
③ Aim（めあて） 2分	本時のねらいを示す。
④ Activity（活動） 1～4年30分 5～9年35分	本時のメインの活動。見通しを持って活動に入れるよ うに、ALTと教師でデモンストレーションする。
⑤ Reflection（振り返り） 3分	英語の言語にまつわる気付きや、学習の到達度につ いて、3年以上は振り返りシートに記入させる。
⑥ Closing（あいさつ）	例「Thank you for your lesson.」
※パフォーマンステスト	学期に一度の目安でALTや英語担当とのインタビュ ーやポスター作り、スピーチなどのパフォーマンスを評 価する。

※板書に授業の流れを掲示する

5 評価

- (1)「指導と評価の一体化のための学習評価に関する参考資料」(国立教育政策研究所)を参考にし、CAN-DO リストやパフォーマンステスト、ふりかえりシートをもとに評価する。

学年	形式	時期	学習評価(評価・要録含)
1・2年	記述	年度末	英語担当・担任
3・4年	記述	各学期末	英語担当・担任
5・6年	観点別評価	各学期末	英語担当
7～9年	観点別評価	各学期末	英語担当

6 英語検定等

- (1)英検 Jr. 学校版(5・6年)

①受験学年・受験グレード

受験グレードは、学年で統一する。(R4 3・4・5年ブロンズ、6年シルバー)

②申請の流れ

(7月)小英語担当者が美咲町教育委員会に申請書をメッセージで送る。

データは、教務部>教科・道徳等>外国語>英検 Jr.

申し込み締め切りは実施日の1ヶ月前

(1学期中)英検 Jr.のお知らせを保護者に学級通信等で知らせる。

・日時 ・費用700円(負担額は変更する可能性もある。町教委に確認してもら

う)

(10月) 各学年で実施。(CD を流すだけ)

(受験後) 答案を返送。費用は学校負担。

(結果が届く) 個別のシートが郵送されるので、児童に返却。

(費用) 請求書が届きしだい振り込む。手数料は学校負担。

③結果の活用

各学年の英語のレベルを把握し、今後の授業に生かす。

英語検定申込の前に実施することで、英語検定に取り組もうとする意欲を高める。

- (2)英語検定

・5～9年の希望者 ※NPO ファミリーリンクあゆむが実施(事前指導含む)

※受験料半額町教委より負担(年間1回)

7 その他

○ALT は、英語授業以外にも児童生徒とフリートークをし、イングリッシュボード等を活用し英語に触れる機会を作る。

○図書室の英語コーナー等にある英語の絵本は授業の教材として扱う。

(児童生徒への貸し出しは不可。)

○英語教室の掲示やフラッシュカード等は英語担当が随時整理しながら環境整備に努める。